

## ① 自然の力を活かした環境農業の推進

信州のすばらしい自然環境を大切にするという意識のもと、全ての農業者が環境農業に取り組む長野県をめざします。

環境にやさしい農業については、天敵など自然界に存在するものを活用し、点から面への拡大及び取組レベルの向上、農業者の取組を支える技術の開発や現地技術の集積等を推進します。

また、地球温暖化防止に貢献できる取組や農業生産から発生する有用資源の活用、食品残さ等未利用資源の活用を推進します。

さらに、農業者の努力や農産物の価値を消費者や実需者等へ情報発信し、理解の醸成を図り、環境農業で生産された農畜産物の価値を高めます。

### 【達成指標】

項目	平成22年度	平成29年度 (目標)	設定の考え方
エコファーマーの認定組織数	126組織	310組織	面的な拡大を図るため組織体(JA生産部会、農産物直売所等)の取組を進める
信州の環境にやさしい農産物認証面積	1,483ha	2,200ha	環境農業への取組レベル向上を図るため、現状面積の5割増をめざす

### 【目指す5年後の姿】

- ◆多くの農業者が信州のすばらしい自然環境を大切にするという意識のもと、環境農業に取り組んでいます。
- ◆産地や農産物直売所等のまとまりを持って環境にやさしい農業が面的に取り組まれ、農業者の取組レベルも向上しています。
- ◆地球温暖化防止に貢献する技術の導入や農業生産活動が広がっています。
- ◆地域で発生する有用資源が堆肥や飼料に利用され、資源循環が一層進んでいます。
- ◆消費者や実需者が長野県の環境農業への理解を深め、「おいしい信州ふード(風土)」を始めとする信州産農畜産物を選択しています。



【信州の環境にやさしい農産物認証制度に取り組む  
「(有)アップルファームさみず」】



【信州の環境にやさしい農産物認証制度認証マーク】

**【展開する施策】****● 高い環境意識を持った農業者の育成**

環境にやさしい農業や地球温暖化防止への取組、有用資源の活用必要性等について、啓発資料や研修会等により農業者への啓発を進めます。

**● 環境にやさしい農業の取組拡大**

- 農作物の健全な生育と化学肥料の低減を進めるため、堆肥の施用による土づくりや土壌診断による適正施肥など、土壌の物理性、化学性及び生物性の改善を推進します。
- 病害虫の防除に使用する化学合成農薬の低減を進めるため、天敵や光の利用などIPMの実践を推進します。
- エコファーマーや信州の環境にやさしい農産物認証制度について、農業者へ普及するとともに、産地・集出荷場・農産物直売所等の集団での認定、認証取得を進めるため、取組組織の栽培品目や化学肥料、化学合成農薬の削減レベルに応じた個別の技術対策を提示します。
- 信州の環境にやさしい農産物認証制度については、現地において導入技術の実証を行い、組織的な取組と農業者の技術的なレベルアップを推進します。
- 有機農業については、長野県有機農業推進計画に基づき、有機農業推進アドバイザー制度などによる新たに有機農業を志向する農業者への技術習得の支援、技術交換会等による実践者の技術向上支援の他、有機JAS制度についての啓発を行います。
- 試験場において環境にやさしい農業生産技術の開発を行い、速やかに普及します。
- 農業者が実践する技術や事例などを収集し情報提供を行います。

**● 地球温暖化防止に貢献する取組の推進**

- 温室効果ガス排出抑制や経費節減のため、施設園芸における省エネルギー技術の導入を推進します。
- ヒートポンプ、LED照明や木質ペレット・きのこ廃培地の自家燃料利用など、燃油使用量や二酸化炭素排出量の削減効果の高い技術について、経済性を踏まえ、導入を進めます。
- 地球温暖化防止に効果が期待できるカバークロープ、リビングマルチ、草生栽培等の取組を推進します。

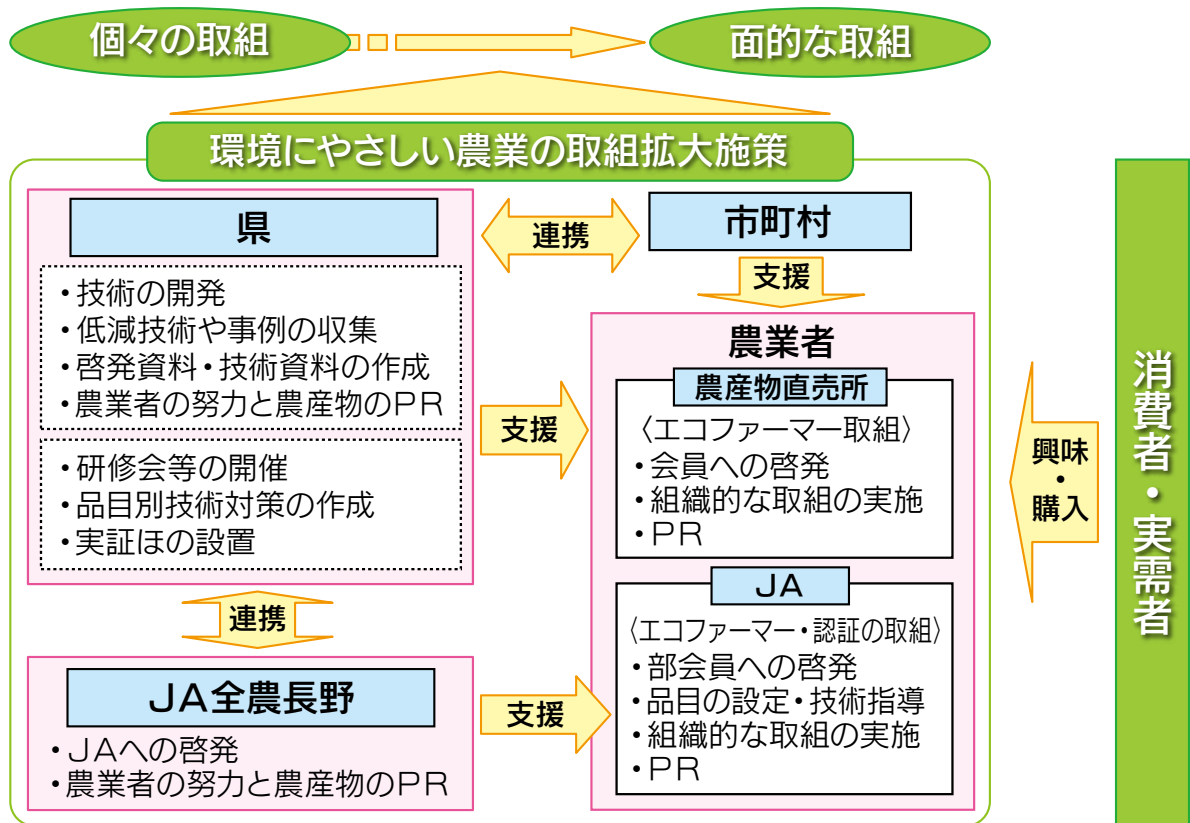
**● 資源循環の推進**

- 家畜排せつ物やきのこ廃培地等の堆肥化施設での高品質堆肥製造を促進するとともに、耕種農家への堆肥情報の発信を推進します。
- 畜産農家、きのこ農家、耕種農家や関係機関が連携した堆肥等の広域的な利活用に向けた取組を推進します。
- もみガラ、剪定枝などは農地への還元方法を検討し利用を進めます。
- 食品製造業から排出される定量・均質な食品残さについて畜産農家への情報提供や関係機関と畜産農家が連携したエコフィードへの取組を推進します。

● **環境農業に取り組む生産者の努力と生産された農産物の情報発信**

- 環境にやさしい農業や地球温暖化防止などに取り組む農業者の努力及び生産された農畜産物について県のホームページや商談会などで消費者や実需者等に情報発信します。
- 農業者、農業団体及び市町村における情報発信の強化を促進し、農畜産物の価値を高めます。

**【環境にやさしい農業の面的拡大】**



**事例 環境にやさしい農業の取組**

♣ **JA須高りんご部会高山支部 (上高井郡高山村)**

部会員数 216名、栽培面積 約92ha (平成24年9月現在)

平成3年度から部会組織全体で環境にやさしい農業に取り組んでおり、よりクリーンな栽培への取組と消費者へのアピールのため、平成17年度に全部会員がエコファーマーの認定を取得し、平成22年度に再認定を取得しました。

その取組の内容は、地元堆肥センターの堆肥又は稲わらによる土づくりと、有機質肥料、フェロモン剤の利用などであり、部会では、「信州高山さわやかりんご」のオリジナル商品名で、エコファーマーマークを表示した販売も行っています。



【エコファーマーによるりんご栽培】